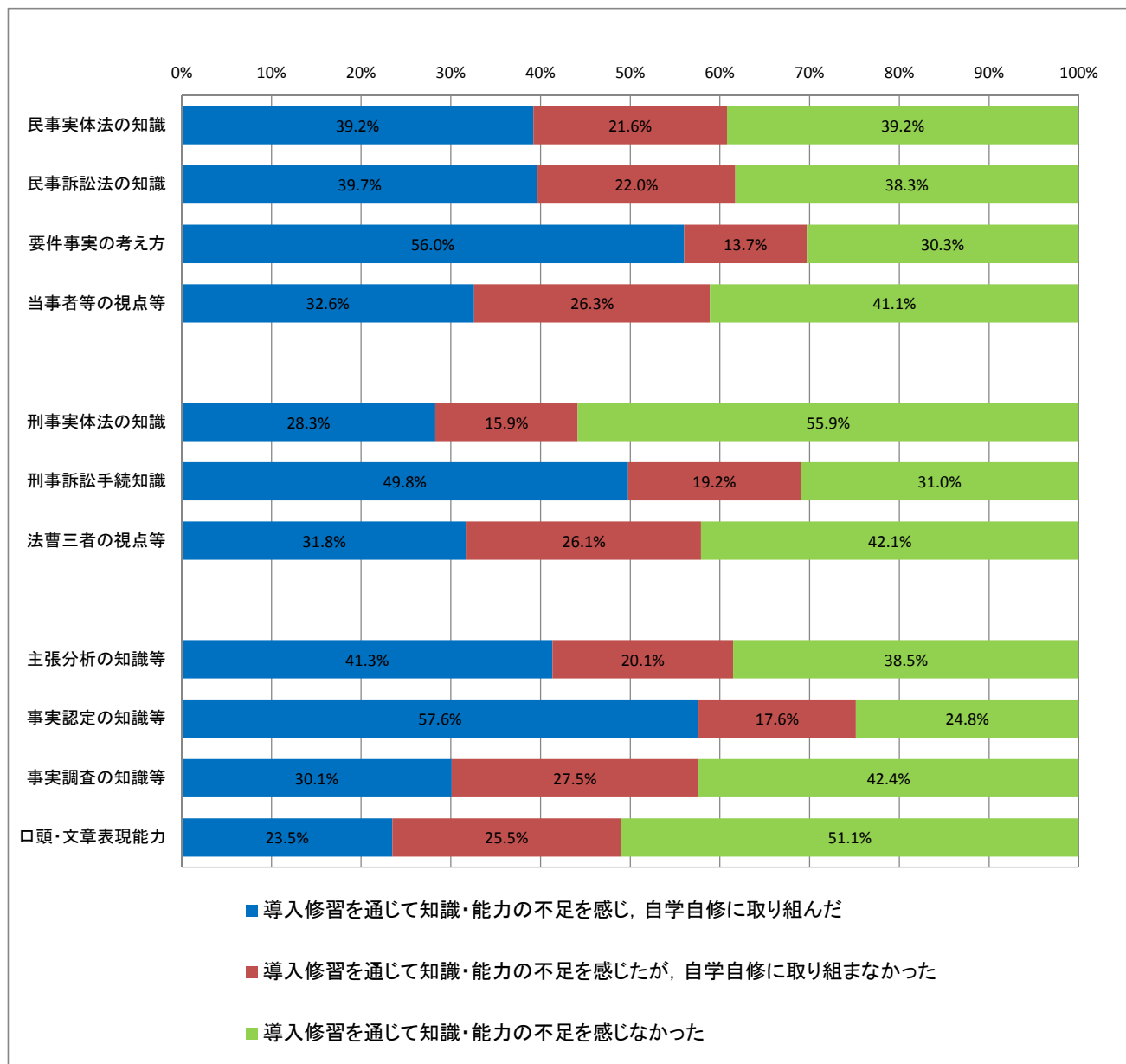


導入修習後の状況等に関するアンケート集計結果(暫定版)

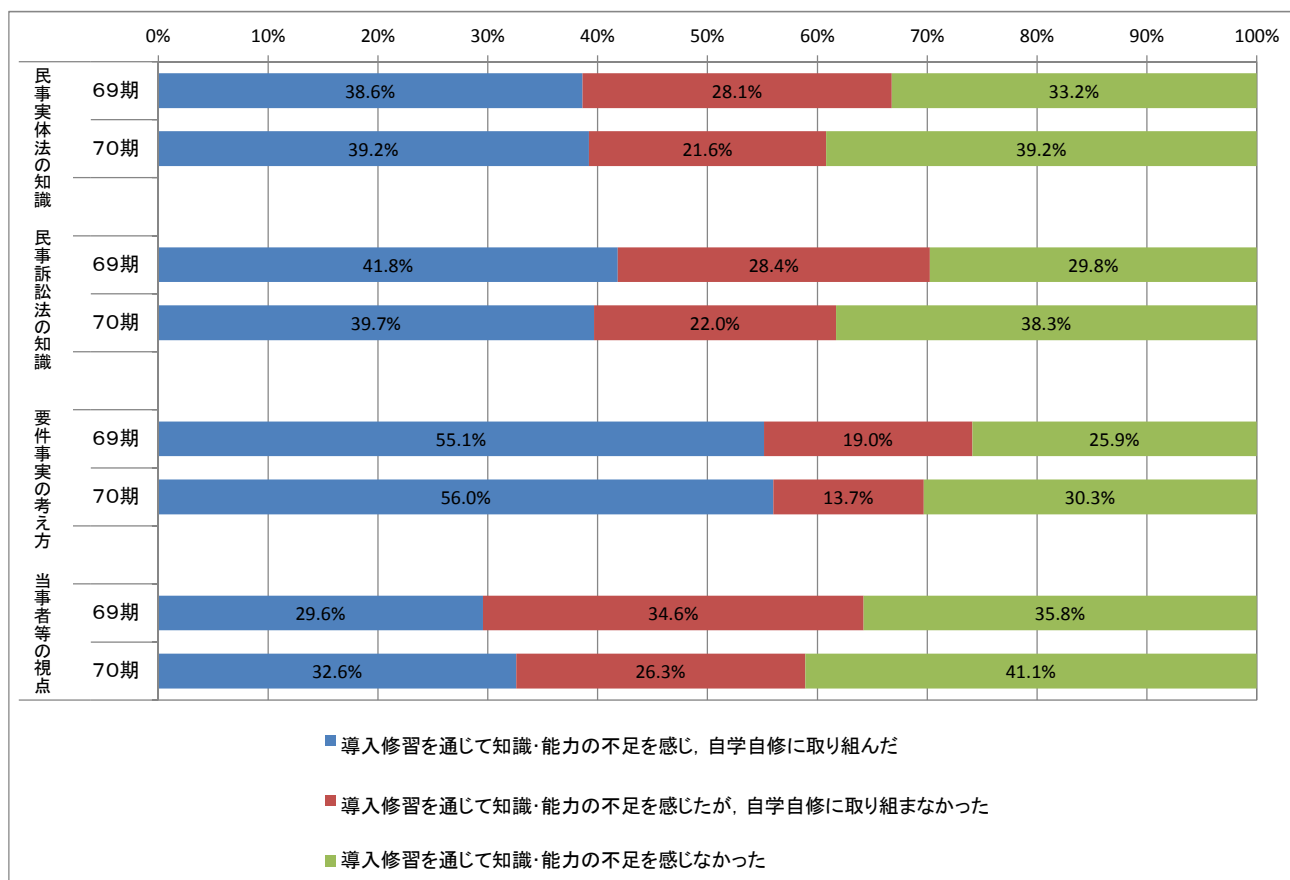
○ 第70期の司法修習生に対し、集合修習開始時にアンケート調査を実施した。
司法修習生1528人中1316人が回答(回答率86.1%)。

○ 導入修習を通じて知識・能力の不足を感じた者と、分野別実務修習中に自学自修に取り組んだ者の割合
(図表1-1-1)

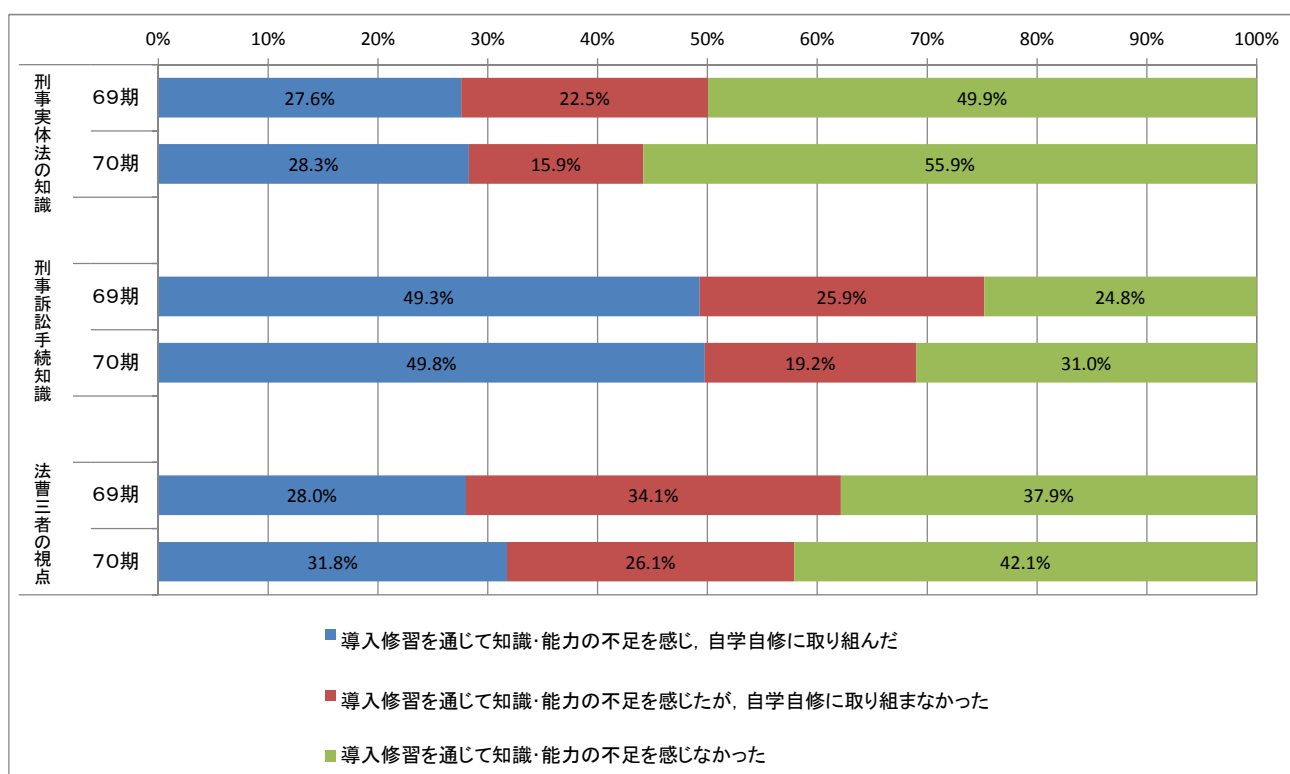


○ 69期との比較

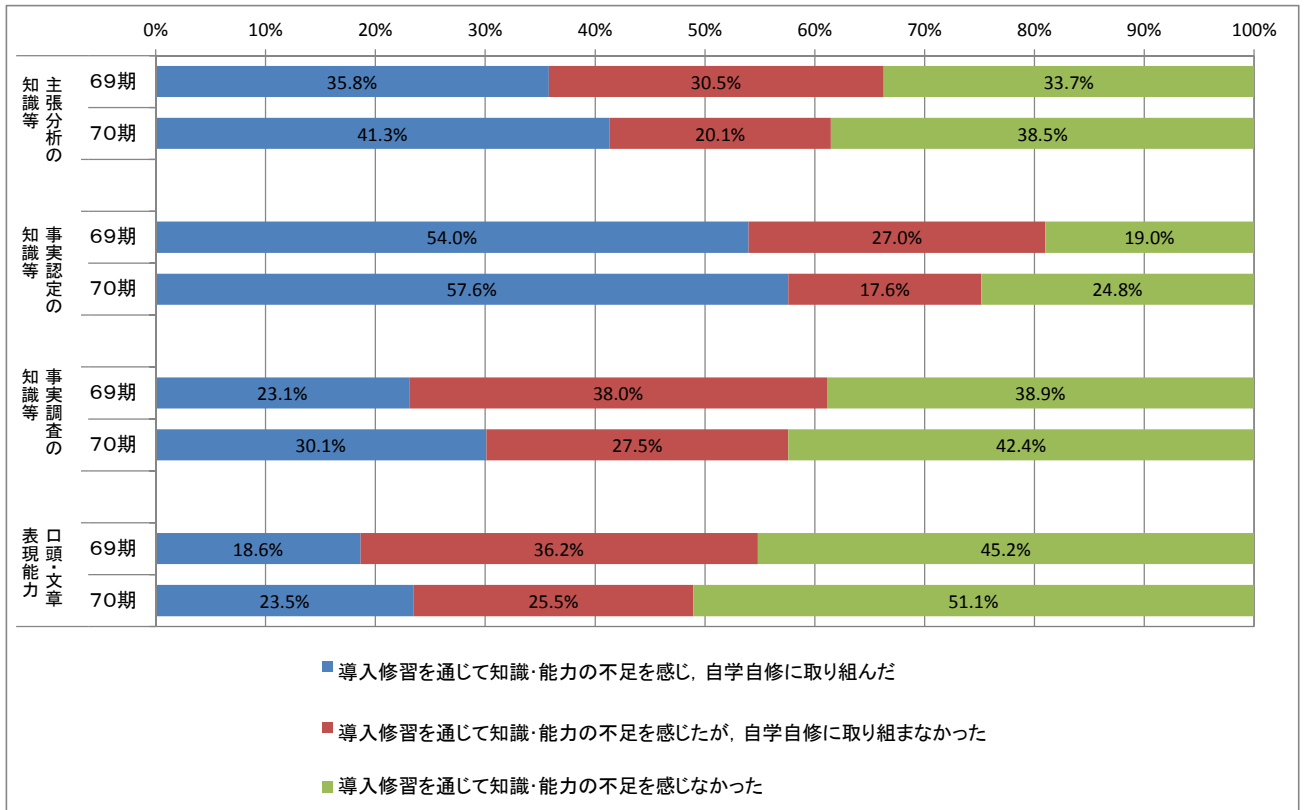
(図表1-1-2)



(図表1-1-3)



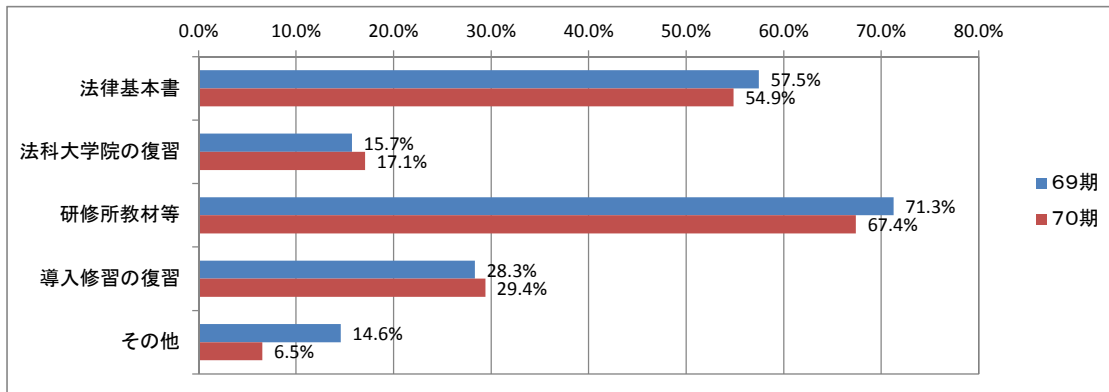
(図表1-1-4)



○ 自学自修の内容

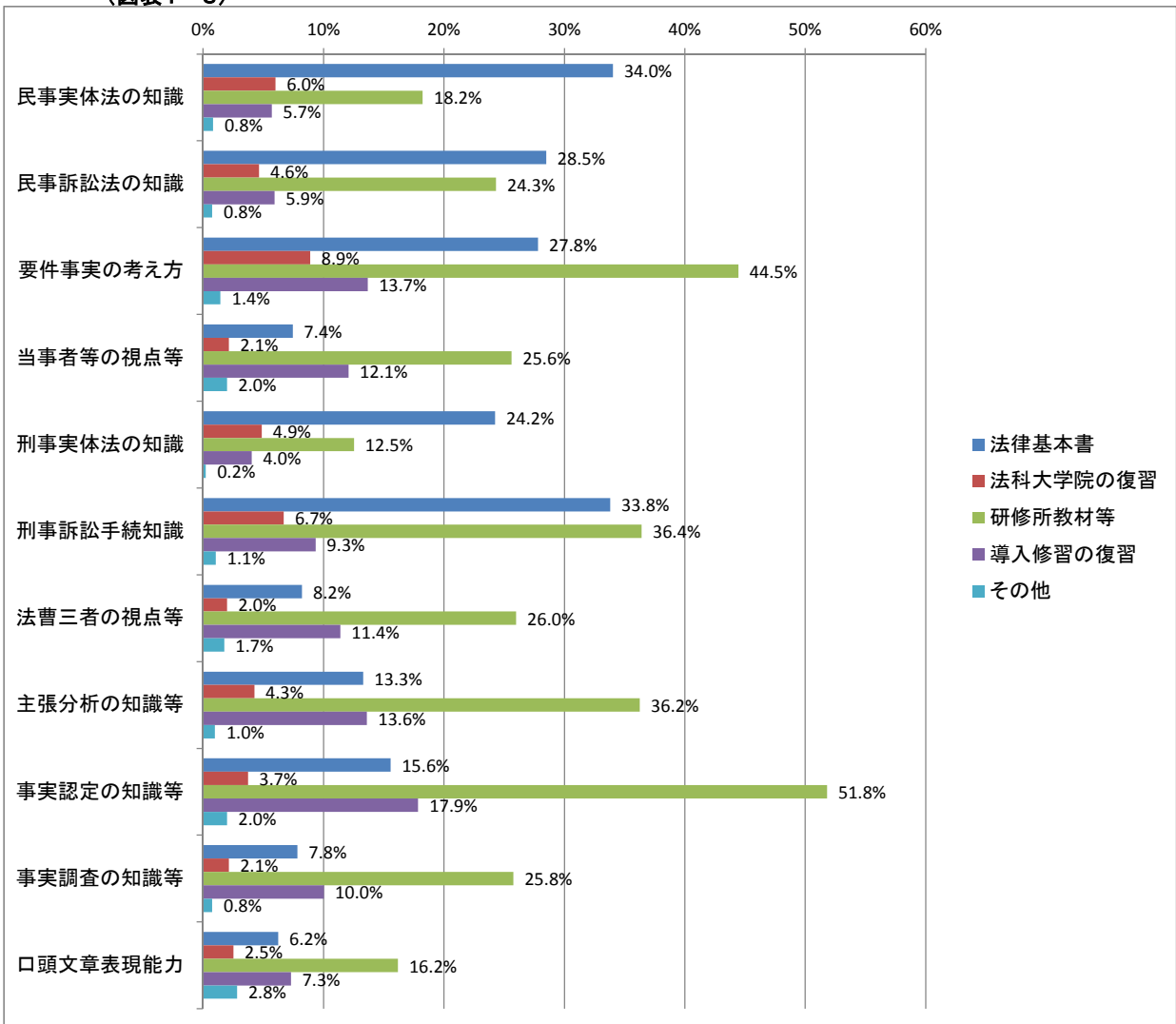
(図表1-2)

※ 自学自修の内容に係る各選択肢に1項目でもチェックを付けた人数の割合



○ 自学自修の内容(項目別)

(図表1-3)



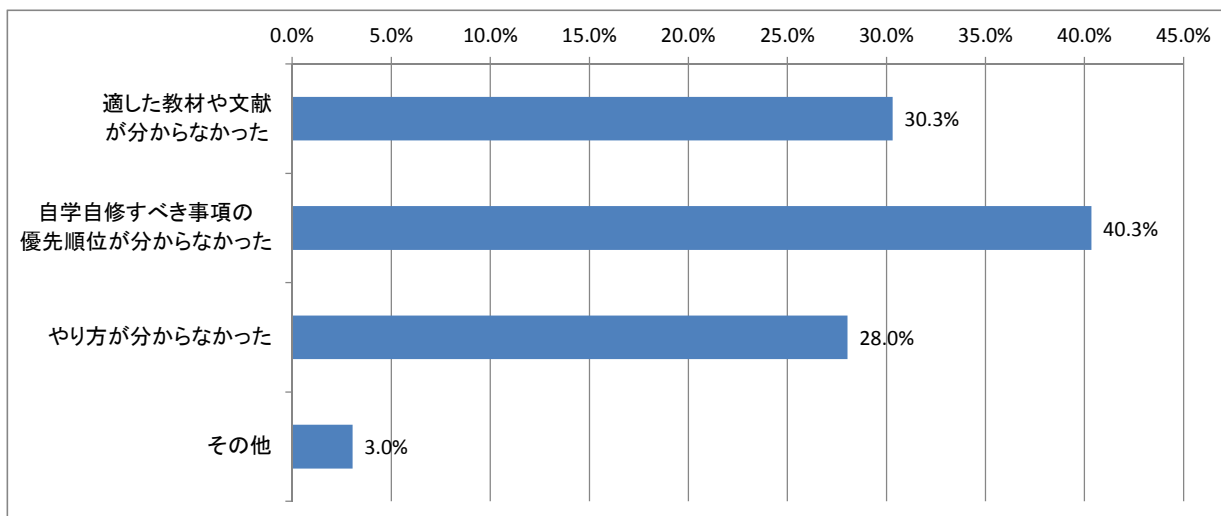
○ その他の具体的記載例

- ・配属庁会の勉強会に参加
- ・定評ある実務家向け書籍、要件事実や事実認定の入門書等で学修した
- ・刑事裁判の傍聴後指導された事項について、刑事実体法の復習をした
- ・指導担当弁護士が起案した書面、事件記録等を読んで文章表現力向上に努めた

○ 自学自修で苦労した内容(全体)

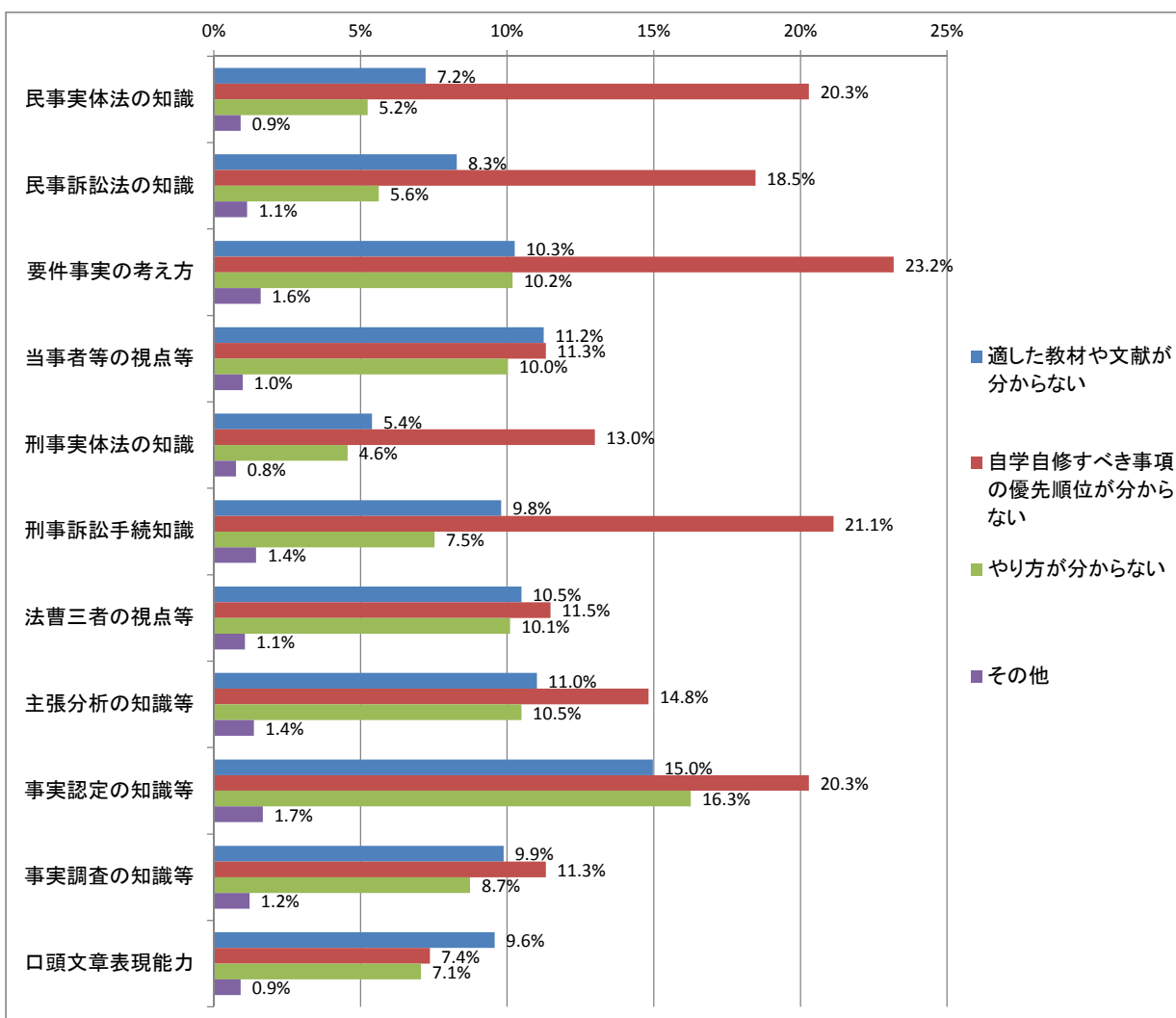
(図表1-4)

※ 自学自修で苦労した内容に係る各選択肢に1項目でもチェックを付けた人数の割合



○ 自学自修で苦労した内容(項目別)

(図表1-5)



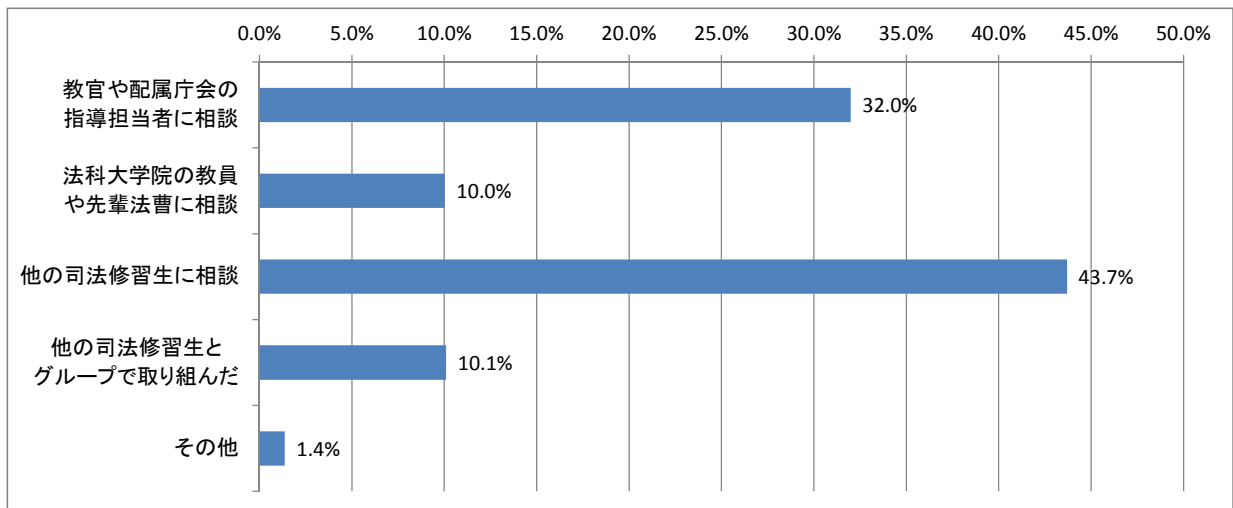
○ その他の具体的記載例

- ・事実認定の知識等についてはどうやって学修すればよいかわからなかった
- ・実務修習の課題、就職活動等により学修時間をあまりとることができなかった

○ 自学自修における工夫の内容(全体)

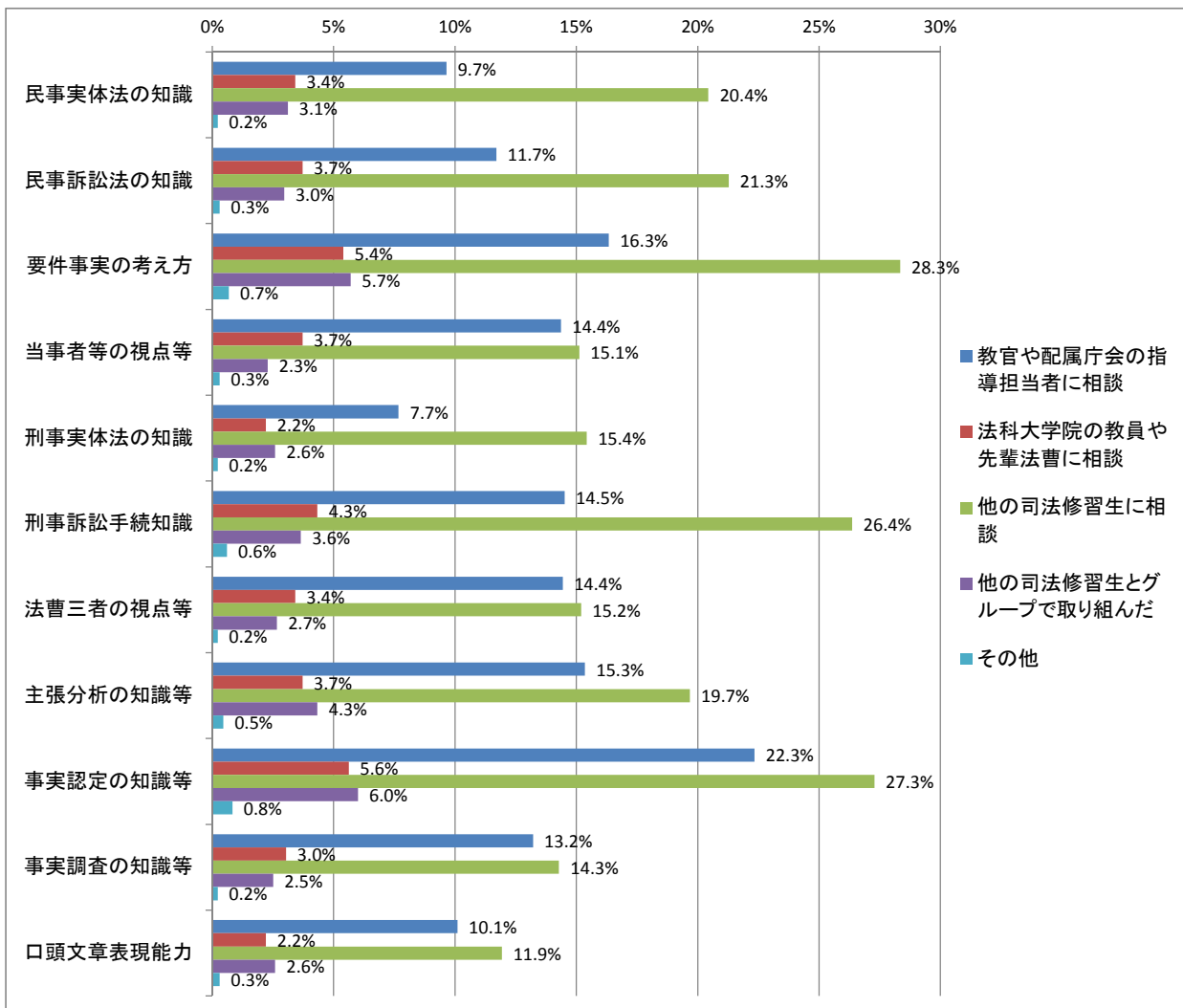
(図表1-6)

※ 自学自修における工夫の内容に係る各選択肢に1項目でもチェックを付けた人数の割合



○ 自学自修における工夫の内容(項目別)

(図表1-7)



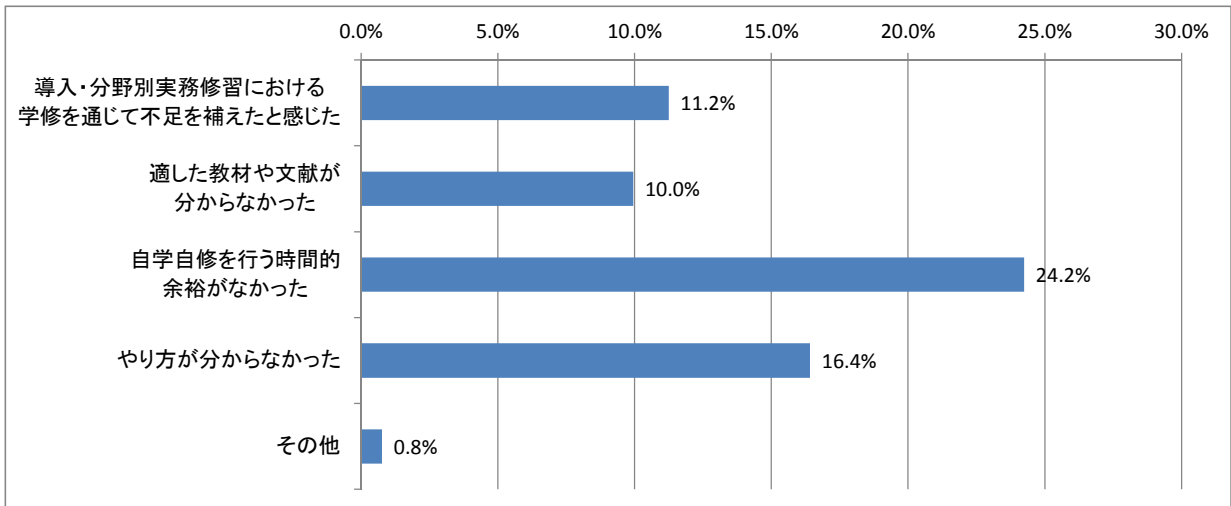
○ その他の具体的記載例

- ・教材や書籍で独学した
- ・インターネットや書店で情報収集をした

○ 自学自修をしなかった理由(全体)

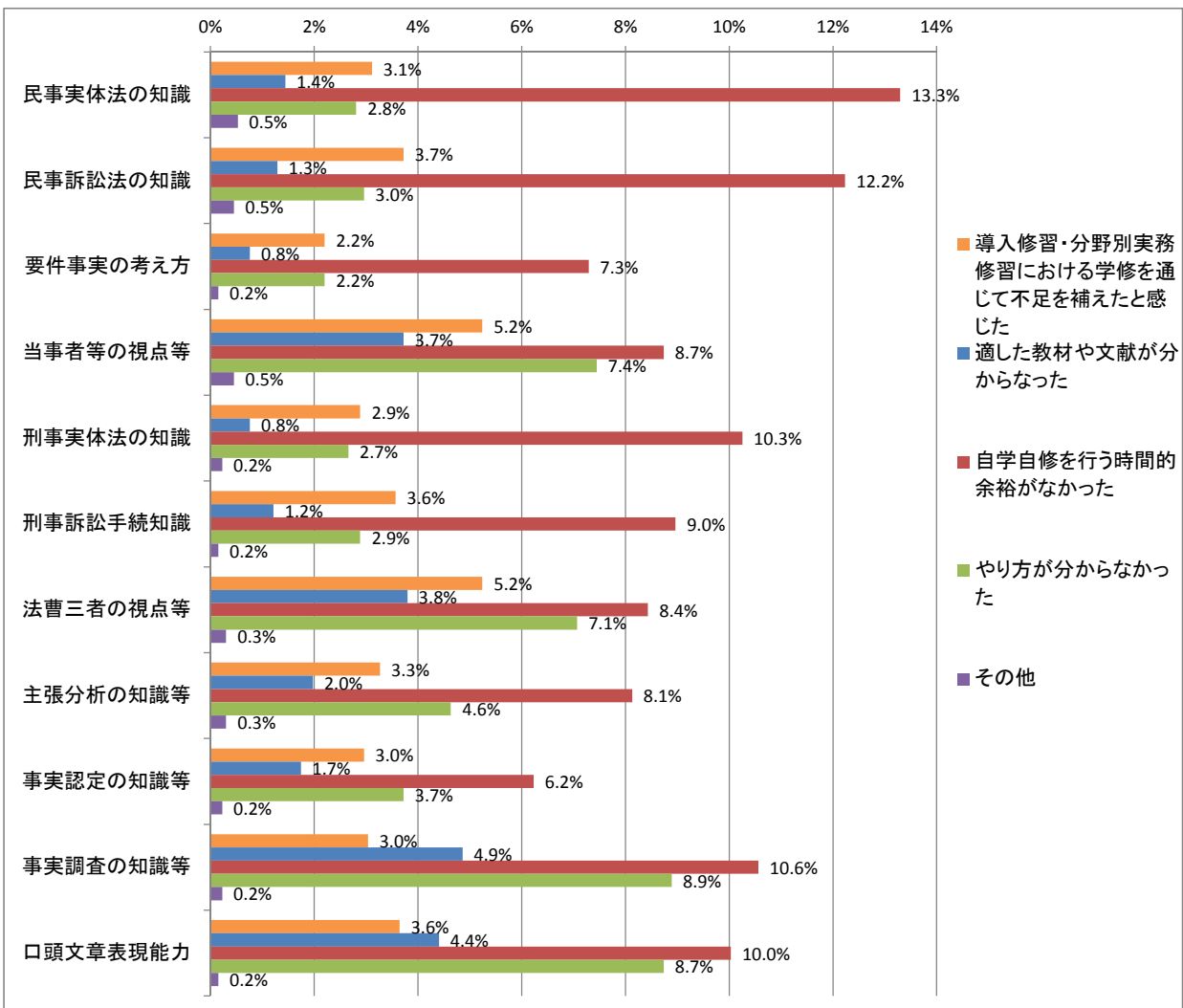
(図表1-8)

※ 自学自修をしなかった理由に係る各選択肢に1項目でもチェックを付けた人数の割合



○ 自学自修をしなかった理由(項目別)

(図表1-9)



○ その他の具体的記載例

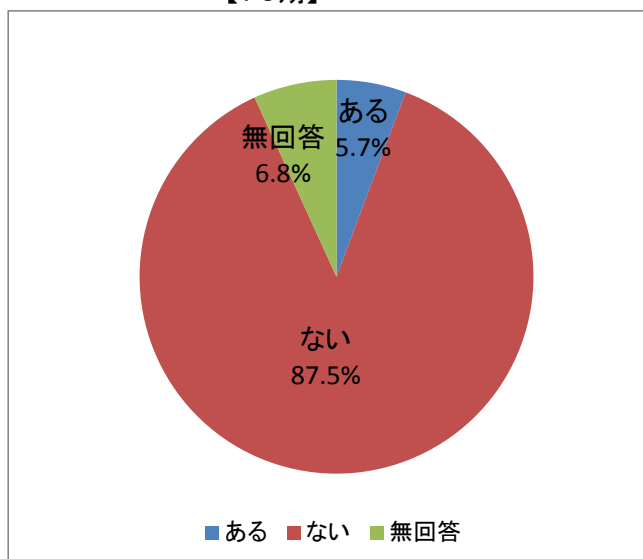
- ・主張分析、事実認定、事実調査の知識等や、口頭文章表現能力については何をすればよいかわからなかった
- ・修習や就職活動が多忙で余裕がなかった

○ 導入修習のカリキュラムがどの程度役に立ったか(全体)

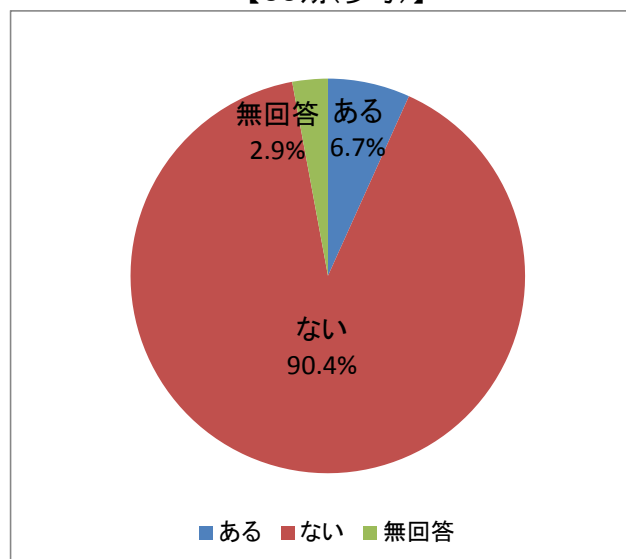
(図表2-1)

※ カリキュラムの中に「役に立たなかった」とあると答えた者の割合

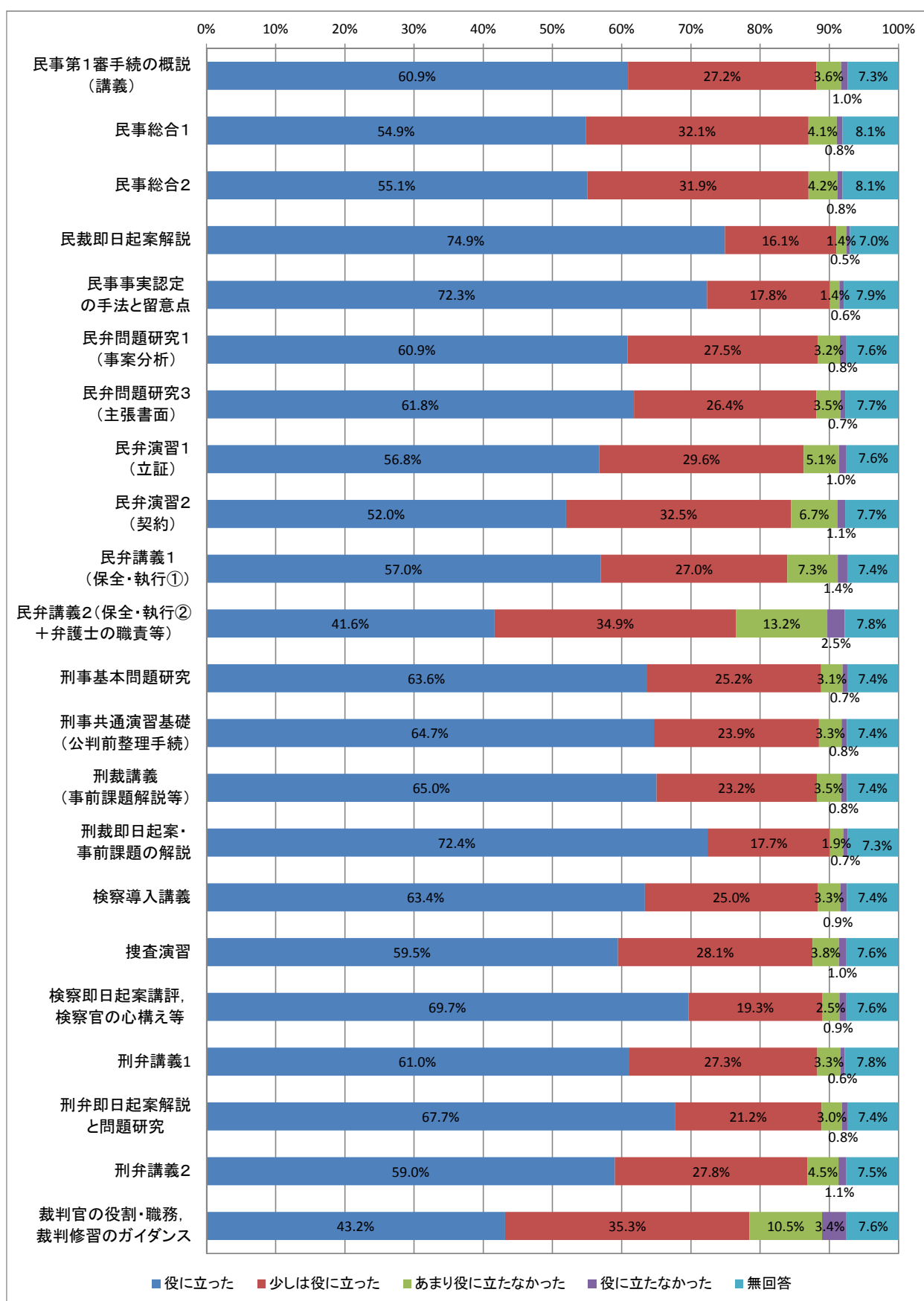
【70期】



【69期(参考)】

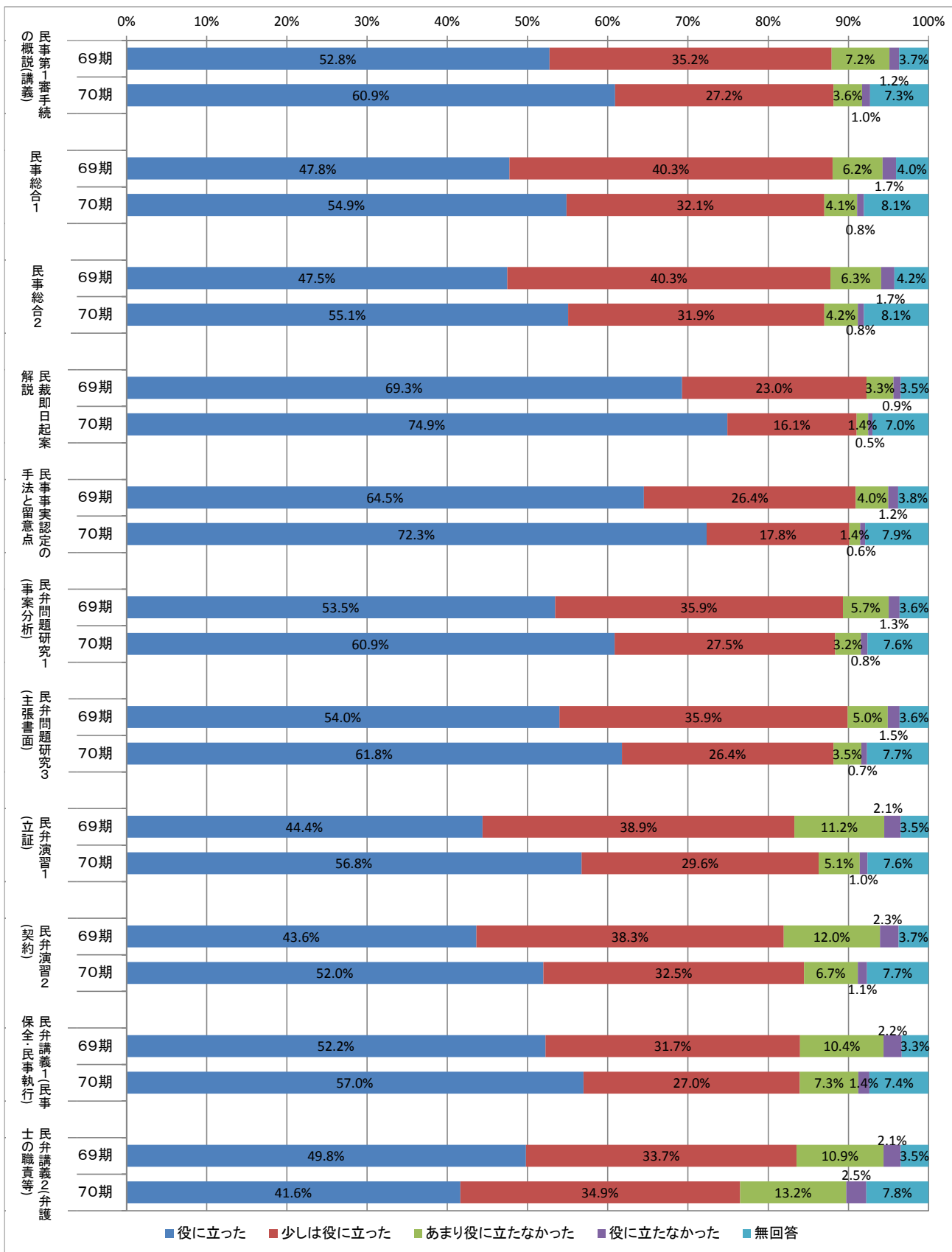


○ 導入修習のカリキュラムがどの程度役に立ったか(項目別)
(図表2-2-1)

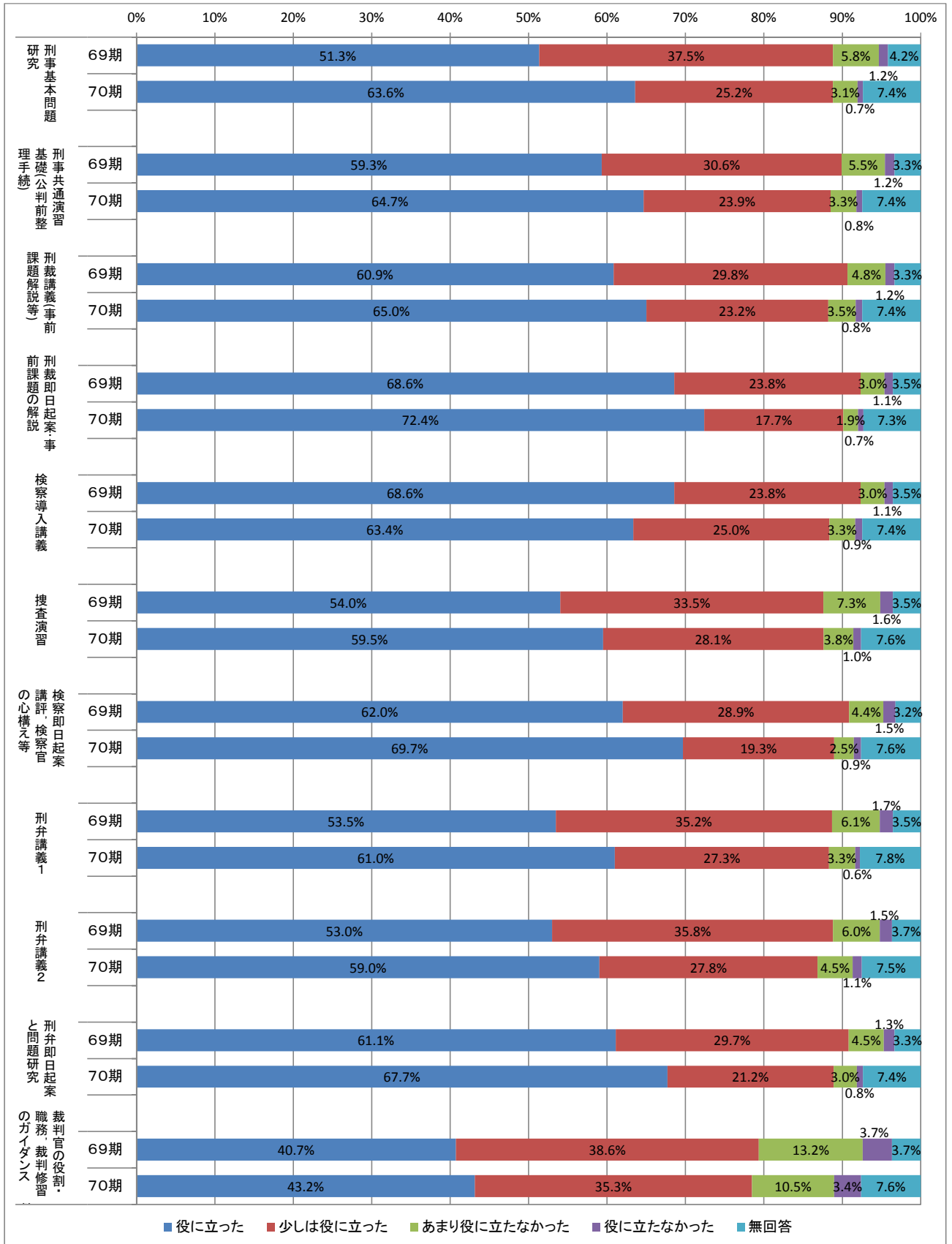


○ 69期との比較

(図表2-2-2)



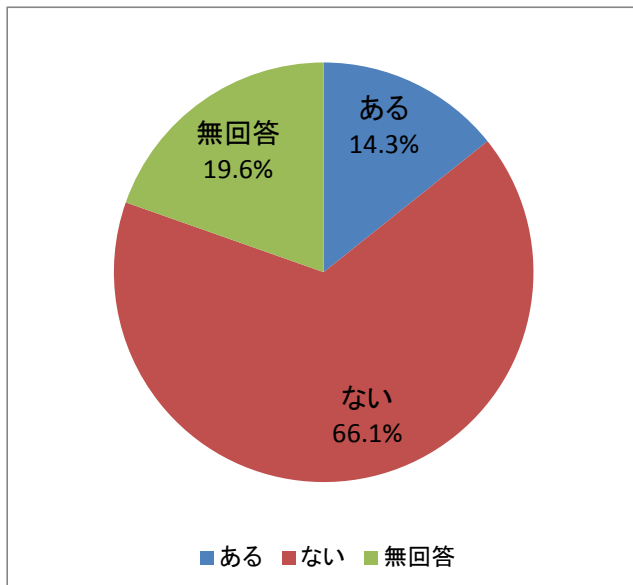
(図表2-2-3)



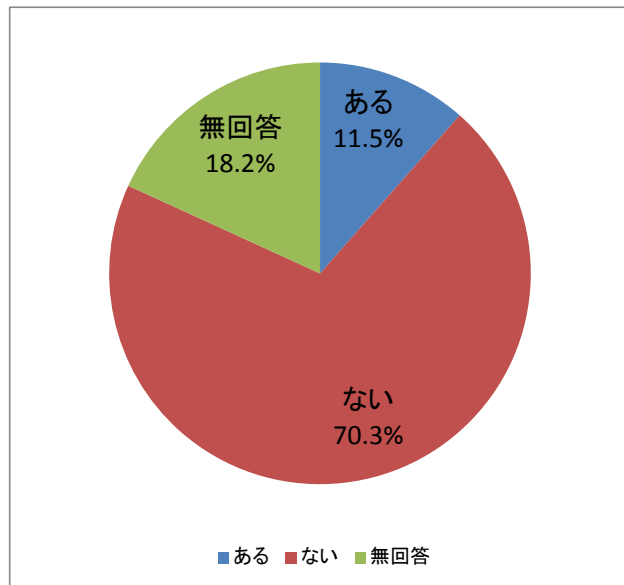
○ 分野別実務修習を円滑に行うため、導入修習の段階で学んでおきたかったことはあるか

(図表3)

【70期】



【69期(参考)】



【自由記載欄の回答状況】

- ・ 188人が「ある」と回答(全回答者中約14.3%)

・ 回答数(のべ人数)が多かった項目

- ① 起案・書面の書き方 36人
- ② 倒産法の知識 16人
- ③ 家事事件の基礎知識 14人
- ④ 事実認定の手法 12人
- ⑤ 執行・保全の知識 10人
- ⑤ 訴訟手続一般 10人
- ⑦ 労働法の知識 9人
- ⑦ 法律相談・受任の手続 9人
- ⑦ 要件事実 9人
- ⑦ 模擬裁判 9人